

もっと老蘇を好きになる老蘇っ子の「ふるさと学習」

滋賀県近江八幡市		●活動名	●関係する学校名
		老蘇小学校地域学校協働本部	近江八幡市立老蘇小学校

協働活動開始年度	平成 23 年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	有
		平成29年4月1日設置			
活動区分	学校支援活動		—		—
	—		放課後子供教室		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数
	—				2人
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有
	60人				
参考URL	http://www.fureai-cloud.jp/oiso-es				



●連絡先 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0748-36-5533

●活動の概要・経緯
 地域全体で学校の教育活動を支援すること、教職員が児童と向き合う時間を拡充することをめざし、平成23年に学校支援地域本部を立ち上げ、今に至っている。平成29年度からは、市内のモデル校として学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして活動を始めた。現在では、地域学校協働活動推進員のコーディネートのもと、老蘇小学校PTAや老蘇学区まちづくり協議会、老蘇こども園、地元の企業や農家、NPO、地域住民と連携しながら、地域の教育力を活かした活動を活発に行っている。
 もっとも特徴的なことは、ピオトープを活用した行事や活動を年間通して取り入れ、児童の豊かな体験活動を展開しているだけでなく、地域住民の活躍と交流の場として大きな役割を果たしていることである。近江八幡市内で先駆けて学校運営協議会を設置したことで、市内の幼稚園や小中学校が学校運営協議会を設置する際には、老蘇小学校の取組を参考にしている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

老蘇学区は、農業や畜産業が盛んな地域である。地域学校協働活動では、地元の畜産農家の協力のもと、地元のブランド野菜を始めとする様々な作物の収穫体験や見学を行っている。先進的な農業に取り組む農家もあり、ふるさと教育やキャリア教育にもつながっている。
 平成14年に老蘇小学校の敷地内に造成されたピオトープを学習や体験、交流の場として活用している。日々の学習の場として活用しているだけでなく、「ピオトープまつり」や「ピオトープコンサート」などを開催し、地域住民と園児、児童生徒の交流の場となっている。
 また、学校から遠い距離にある地域を中心に、スクールガードが組織され、登下校の安全を確保しているほか、校外の道路を使った持久走記録会などでも立哨をしていただいている。

【実施に当たっての工夫】

年間を通じ活動や学習で連携・協働する団体や企業などの打ち合わせでは、年度始めに年間計画や学習および活動のねらいをていねいに説明し、学習のねらいを明確にして活動を展開できるように工夫している。また、各種打合せの際には地域学校協働活動推進員と担任だけでなく教務主任や教頭が同席している。

【関係機関・団体等との連携状況】

ピオトープをめぐる様々な活動の企画運営は、ピオトープ委員会を組織して行っている。ピオトープ委員会は、老蘇小学校、老蘇小学校PTA、老蘇こども園、老蘇学区まちづくり協議会の代表者から構成され、運営面や安全面などについて会議を重ねて、活動のねらいや役割分担、安全のための配慮を明確にして共有して事業の企画運営を進めている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

老蘇小学校は小規模の学校であるため、教員の異動が学校運営にもたらす影響は大きい。しかし、各学年で行っている学習のめあてや活動の方法を地域学校協働活動推進員やボランティアが長年の経験により把握しているため、新しく赴任した教員や若い教員が担任しても、学習活動が明確なねらいを持って展開できる。また、地域の方々がボランティアとして教育活動に参画したり、ピオトープにかかわる様々な行事に参加したりすることで、地域住民と園児児童生徒が顔見知りになる。このことは、安心して安全な地域づくりにつながり、防犯上で大きな成果となっているほか、児童がふるさと老蘇を愛する気持ちの育成にも貢献している。また、大好きなふるさとで成長する自分や友だちのことを大切にできる心を育むこともできている。

● その他

農業については、農事組合法人「ファームにしおいそ」の協力のもと進めている。放課後子ども教室では、放課後の学習だけでなく、漢字検定の会場としての活動も行っている。児童だけでなく、保護者も参加し、親子合格をねらうことで、意欲的に基礎学力の向上に役立っている。

